

磐城時報

日刊 一十月
編輯兼發行人 岡田弘成
印刷所 磐城時報社
發行所 磐城時報社
廣告部 一行十四字 金五拾錢
日刊(日曜、祭日)休刊

藝妓の贈物廢止に就て

兩組合長に嚴達

花柳界の弊風一掃

櫻村警察署長は花柳界に於て務所に各町村長を集め協議會を召集し、藝妓が料理屋の主開く事になつた。人々女中に贈物をするため容易ならぬ苦勞をする弊風を一掃す可く決意した事既報の如くであるが、十一日平町、小名濱町の産業組合石城郡部會長山崎與三、藝妓屋並に料理屋の兩組合長を即氏は此程辭職したので來る十日平署に呼び、本年から斷然藝妓の贈物をなすしめざるやう、又研究會に於て後任會長の選舉を受取らしめざるやう嚴達注意す行ふこと。

産業組合で

組合長選舉

北海、九州等の優良炭が全國の申合せにより出送炭二割二分制限を斷行してに拘らず撫順炭の對抗によつて單價はグングン下落を見てゐるので夏枯れ期に入り經營は一層困難に陥つてゐるに反し常磐各炭礦は昨今茨城方面の無煙を除き所謂四大炭礦、磐城、入山、古河、福島共何れも相當の活況を呈してゐるといふ珍奇な現象を呈するに至つた。これが原因は常磐炭は九州、北海道に比し幾分かカコクが少なからぬ結果として價格においては當然競争出來る立場にあり殊に供給範圍は信州方面から山形方面に限りてゐるため距離の點において自ら有利な立場に置かれてゐる關係上今回の如き優良炭同士の競争によつてはその中間にあつて充分漁夫の利を占める事出來る結果からであるが、常磐炭礦聯合會の調査にかゝる近々ひ密かに喜んでゐるが、最近に日平署に詐欺の告訴をなした。

中堅農民

小名濱で講習

石城郡農會主催中堅農民講習會は十四日柴田技手が講習者九名を引率小名濱町に至り肥來る二十日午前十時から平町事務所並に測候所を見學する。

縣議選舉近づくと

石城郡から九名立候補か?

政友、民政、無産各派の争ひ

若松美三氏を會長とする石城民長とする民政派では現縣議野崎政部會では去る八日選舉對策委滿藏氏を擁立する管で野崎氏は議員會を開いた結果郡南から現縣議で全郡町村に亘り別動隊の議案清昇、山手方面から若松石城民政研究會と提携し進行運美三、また平町から萩原義雄氏動中近く正式に名乗りを揚げ馬を委員一同から交渉する事と補者三名を公認すべく協議中だが、一方漆畑元吉氏を會が前回落選した田子健吉氏は佐より五千噸の増加振りである。

連日の炎天で

水田龜裂を生ず

農民再び氣を揉む

濱通り地方の稲作は承らくの雨天と冷氣に分葉伸長共に妨げられ、かへて加へて稻熱、葉枯、萎縮の病害及び泥虫、あを虫等被害著しく二割の減收を豫想するに至り全く悲觀の体にあつたが、八月に入つて炎天が打續き、八月に入つて炎天が打續き、何れも持直し、且病害虫も絶滅され發育振りは本年と殆んど大差ない程度に追ひ付いたので今後しばらくこの炎暑が續けば平年作には廻らぬとしても減收は軽く僅少に止まるものと見られ一般農家は安堵の胸を撫でおろしてゐた處、炎天が余り長く續いたので最近では各所に水不足を生じ水田に龜裂を生ずる所もある。この農民は又々氣を揉み始めた。

中學生に化けて

海水浴場荒し

不良少年又々檢舉

石城郡内郷村大字高坂市村一郎その他海水浴場に出没し脱衣場(十四坂名)は有名な不良少年で荒してゐる事發覺十日平署で過般は平町鐵道官舎その他で窃盗捕した。盜を働らき檢舉され、その後又内郷村方面で悪事を働らき捕えられたが未成年であるためその都度釋放されてゐたが、此程豊間村に至り滯在中の安積中學校生徒の制服正帽並に定期乗車券を盗みそのバスで四倉、小名濱へ歸つた。

入山對江名

水泳競技會

石城郡江名、入山兩小學校の對校水泳會は十五日入山炭礦プールにおいて開催される。

偽物の軸と名刀

洋品屋主人のシクジリ

平町田町三番地洋品店萩野信良は去る六月双葉郡大久村大字大久猪狩八郎(三五)から文晁の掛物と天國の名刀を百六十圓で買ひ密かに喜んでゐるが、最近に對抗野球試合は今十一日午前十時から双葉中學校々庭球場に於て開催する。

桑の葉を

一一重賣り

石城郡三坂村大字差塩農業本間千代吉は此程同村桑谷政一に桑葉五畝歩分を賣つたが、桑谷方で桑摘みに行つて見ると全部他に賣却してあつたので千代吉は憤慨して平署に告訴した。

横川で溺死

石城郡見四倉署より松本署長出張檢視したが、原因は十年前からの病氣を苦にしたためである。

病氣を苦しむ
縊死を遂ぐ
石城郡大野村字戸田金之町一番地山田又右衛門(四六)は十日午前九時頃自宅養蠶室の柵木に紐を吊し縊死したのを家人が發見四倉署より松本署長出張檢視したが、原因は十年前からの病氣を苦にしたためである。

一の井で

百勝會

平町田町ビヤード一の井では來る十五日から百勝會を組織し毎日勝越点数を加算し百勝に達した者一等から三等まで景品を出す事になつたので人氣を呼んでゐる。

郷里を戀ひ

女工逃走

相馬郡中村町金山紡績工場佐藤サメ(二〇)は本年春から郡山市日東紡績會社に女工を勤めてゐたが郷里を戀しくなり十日逃げ出したが、平町まで来て旅費がなくなつたので平警察署に出頭中村までの旅費支給方を願ひ出た。

「文」の「狂」片寄文狂選
熱心なほどに狂人じみて見へ
文晁は焼いたが未練眼に残り
太郎の鼻息文章が甲ノ上
漸くに覺めかけた頃文が來る
狂言にしてはあんまり眞面目
大びらで戀路を歩む文化村
落付かぬ俺へ國から母の文
狂人にされつゝ豪い人になり
母校へ應援熱狂な拍手なり
勝軍狂氣のやうに旗を振り
五 客
女文字ハテと舍監の眼が光り
親展の文が重たいお盆前
文案へ課長二三筆を入れ
結局は連れて逃げての長い文
文晁を焼いて秘密のまんま嫁
新 坊



夏 ハあせも、たぐれト吹出物ニ
オ行水ヲ

冬 ハ温浴ヲ冷ニ込ミヨリ來ル諸病ニ

浴精
バスエマー

使用量 洗面敷滴 定 試用二十五瓦入 貳拾錢
行水五瓦 小瓶二百瓦入 壹圓
風呂十瓦 大瓶七百瓦入 參圓
(送料十二錢)

特約店募集 小 林 商 會
振替東京五一五〇五番

油と味噌

山崎合名會社

福島縣平町

電話(營業部専用)一〇番
(一般用)二七番
振替東京一九七五五番

御家庭用ニ
御中元御贈答品には

新鯉節を御利用下さい

極上無油 本節 四割五分 (百瓦目)
本節 四割五分 (百瓦目)
特別箱 五本入 (壹箱) 壹圓五十錢
同 七本入 (壹箱) 貳圓也

尙多數御買上げの方には特に御勉強致し升

四倉町新町
シンフチャ

八印 門馬商店
電話三番

レコード破りの石炭大特賣

磐城炭礦二等級炭

正味十貫匁一俵金卅錢也

「品が良く」「値は安く」をモットーとする當店は、
此度超破格の格安石炭を販賣開始致します。
値が安くとも品は悪くはありません。
磐城炭礦の處分的大掘出物です、品物の無くならない
中に御注文下さい。

配達は一俵より致します。

御注文は
電話三三七番へ

阿部石炭商店
平 停車場前

家傳秘法 **腫物湯** のんで効く
ほれ物の妙薬

主一 面疔 二 乳の腫れ 三 指のはれ 四 林巴腺のはれ
五 耳鼻のおでき 六 骨膜炎 七 筋炎 八 はれ物手術の前
後 九 等よし

◎特にかほのおでき、乳のはれは切らずに治り醜き
痕を残さず美容上最適の治療劑なり

定價 五十錢 七十錢 一圓十錢 一圓五十錢

特約店
平町四丁目 小野薬店 四ツ倉町 荒川薬店
平町三丁目 宇佐美薬店 植田町 松本薬店
湯本町 岩瀬屋薬店 富岡町 莊野薬店

腫物湯 製劑所 茨城縣下孫 磯野 健生堂

運動具と服装!!!

榮冠輝く品質
價格のフライング!

平 驛前 **マルカ運動具部**
電話三十二番

和洋御料理は
四倉本町(三三三屋支店)

武田バー……

美人揃で 御料理は
味百パーセント
是非御立寄を願ひます

カフエー
武田バー
電話三二番

胃腸 内科 専門
腸十二指腸 腸胃病 腸性病
腸病 腸胃病 腸性病

梅毒 淋病 皮膚病 専門
皮膚病 淋病 梅毒

院 醫 科 腸 胃 村 松
(七〇一話電) 町 南 町 平

大 磐 城 無 盡

大 磐 城 無 盡

大 磐 城 無 盡

大 磐 城 無 盡

鼻の薬 チクノール
平五 山野遊樂局

東京——四倉間
定期貨物運輸

途中 七浦、石岡、水戸、助川、高萩、平停車場
平荷扱所ハ……研町八番地
(平)電話二六一番へ

早川 合 同 運 輸
電話(四倉)三七番

耳鼻咽喉科 專
氣管食道科 門

病室完備…自炊の便あり
平町南町 **大和田醫院**
電話一七〇番

君はい、型の
洋服を求めら
れたね。眺だね?
いや君コレは四丁
目マルトモビル停
車場通で販賣中の
ソレ正札堂さ



ルピモトルマ 目丁四
堂 札 正

貸切は

セダン 揃ヒデ
乗心地ノヨイ

皆様ノ昭和タクシーへ

電話三四三番